

経尿道的 膀胱腫瘍の手術を受けられる患者さまへ

H 年 月 日

お名前 @PATIENTNAME 様

担当医師

担当看護師

月日 経過	入院日	手術日	1日目	2日目	3日目～	退院日
達成目標	手術に同意している 手術の準備が完了している 転倒・転落の予防が理解できる	安全に手術を受けることができる 38.0℃以上の発熱がない 転倒・転落しない	尿の流出が良好である 38.0℃以上の発熱がない 転倒・転落しない	おしっこの管が抜ける 尿がスムーズに出る 転倒・転落しない	尿がスムーズに出る 37.5℃以上の発熱がない	
治療・薬剤 (点滴・内服) 処置・検査	いつも飲んでいる 薬を確認します。 今日はいつも通りに お飲みください。 夜、眠れない場合は 眠剤をお渡しします。 	手術は ・ ・ からです。 朝、便が出なければ 便を出す坐薬を使います。 朝の回診時に点滴をしますので それまでに手術着に着替えて下さい。 手術室には歩いて行きます。 手術が終わりましたらベッドでお部屋に戻ります。 寝巻き・T時帯・バスタオルをベッドにご用意下さい。 朝6時にいつも飲んでいる薬を 飲みます。 昼の薬は飲みません。 夕の薬は普段通りに飲みます。 (ただし、糖尿病の薬は本日は飲みません)	手術の時からおしっこの管が入っています。 管は回診の時に抜けますが抜ける日は主治医が決めます。 管が抜けたら、退院日まで名前の書いてあるビンに毎回おしっこを ためて下さい。(尿の色や量をみていきます)	点滴は夕方(16時頃) 針を抜きます。 薬は普段通りに 飲みます。	朝・夕の2回 点滴をします。 点滴は本日で 終わりです。 	
活動・安静度	特に制限はありません。	手術後はベッド上安静です。 翌日の回診までは歩けません。 夕方から食事が90度にベッドを起こして食べられます。	回診後に歩けます。 状態によって許可が でない場合もあります。			
食 事	()食となります。 糖尿病・心臓病・高血圧など ある方は治療食となる場合があります。	午前手術の場合は朝6時から絶飲食です。 午後手術の場合は朝食はあります。10時より水分不可 手術後3時間経てば、水分がとれます。 夕より全粥と軟らかいおかずの食事がつきます。	今日1日は 全粥と軟らかい おかずの食事です。	今日から 普通のかたさの 食事になります。		
清 潔	爪を切りましょう。	朝の回診までに入浴またはシャワーをして下さい。	朝、うがいと顔を拭く 用意を持って行きます。 お湯を配ります。	管が抜けたらシャワーに入れます。		
患者様および ご家族への 説明	入院生活と手術についての説明をします。 手術に必要なものをご用意下さい。 (和式の寝巻き・T字帯・バスタオル)	毎日、午前中に回診があります。 (土日・祝日もあります)				退院計画書と 診察券を お渡しします。

病名・入院期間などは現時点で考えられるものであり、治療・検査を進めるにしたがって変わることがあります。

市立四日市病院 泌尿器科